

ボッケ

概要

ボッケは、阿寒湖畔エコミュージアムセンターから、ボッケ遊歩道をとおり、約5分の地点にあります。ボッケ遊歩道では、阿寒湖沿いに森を通って、約1.5キロのゆったりした周遊が楽しめます。

ボッケという名前はアイヌ語の、「煮え立つ」という意味の「ポフケ」に由来しますが、一般的にいう泥火山のことを指しています。地下から灰色の泥が火山ガスとともに、絶え間なく湧き上がり、湯玉状に盛り上がった様子が観察できます。また、この周辺では、継続的な地熱活動があり、冬でも雪が積もりません。沸き立つ泥火山であり、その見た目のみならず、ボコボコという音や匂いも特徴的です。

楽しみ方

ボッケ遊歩道の周辺は、阿寒地域特有の自然の宝庫です。よく見られる植物は、エゾマツやトドマツのような針葉樹、オヒョウ、カツラ、シウリザクラ、ナナカマドのような広葉樹です。エゾリスやエゾシカのような野生動物を見ることもできます。地熱活動によって暖かいため、寒い時期でさえ、マダラスズやツズレサセコオロギの鳴き声が響き渡ります。

注意：ボッケは100度近くにまで温度が上がりますので、柵を超えないでください。